

## I. 小松川サッカークラブ 規約

### 1. 会則

#### 会 則

- 第1条 本会は、1986年4月1日に設立され、『小松川サッカークラブ』という。
- 第2条 本会は、スポーツ活動を通じてサッカー技術を高め、豊かな人間性を養い、会員相互の親睦を図ることを目的とする。
- 第3条 本会の所在地は代表コーチの自宅に置く。
- 第4条 代表コーチの任期は3年とする。但し、留任は妨げない。
- 第5条 小松川・平井地域および周辺に住む小学生・未就学児は、誰でも会員になることができる。
- 第6条 本会に、幹事と運営委員を置く。
- 第7条 幹事及び運営委員の任期は、1年とする。但し、留任は妨げない。
- 第8条 本会の練習は、毎土曜、日曜日とする。
- 第9条 本会の会費は、別途定め、毎年始めに通知する。
- 第10条 会員およびコーチについては、スポーツ保険に加入する。
- 第11条 会計は、毎年度終了時、会員に対して会計報告を行なう。

### 2. 役員・幹事等

代表コーチ： 加藤 寛隆 （東京都江戸川区平井 在住）  
会 長： 加藤 規夫 （東京都江戸川区小松川 在住）

- ・クラブのコーチの他首脳陣は下記のとおりとする。  
運営役員： 井垣 英明、木曾 悟郎、市川 崇志、亀田 雄介  
相談役コーチ： 土屋 満、植松 勝治、佐藤 英夫
- ・幹事は原則として4年生保護者より選出し、会計・庶務的事項を担当する。  
幹事長：1名 副幹事長：複数名 幹事：複数名 会計監査：複数名 ほか
- ・クラブの運営に関わる事項の協議機関として運営委員会を設置し、原則として各学年代表保護者1名（学年運営委員と呼ぶ）および代表コーチと運営役員と幹事にて構成する。協議事項が発生した時に随時開催する。
- ・クラブ運営資金を管理する通帳の口座名義人は『小松川サッカークラブ 代表 加藤寛隆』とする。
- ・年度初めに、当年度の運営委員・幹事・コーチ一覧表を保護者に配布する。

### 3. 入会・更新・退会に関して

- ・加入期間は4月から翌年3月までの1年間とし、毎年2～3月に更新手続きをする。
- ・ユニフォームの背番号については、学年単位のゼッケン番号とし、卒業まで変わらない番号となる。  
ゼッケン番号はコーチが決定する。
- ・日本サッカー協会に加盟する（第4種一少年（東京都第二ブロック：江戸川・葛飾））。

- ・ 3年生以上は毎年、更新時にクラブ側で選手証用の写真撮影を行い、日本サッカー協会に選手登録をする。クラブ側で全選手の選手証の管理を行う。
- ・ 未就学児の加入を認める。ただし、'幼稚園の年中児'相当以上とする。
- ・ 会費（1ヶ月分）…小学生－2,000円、未就学児－500円
  - \* 兄弟割引…兄弟姉妹で2名以上加入の場合、2人目からのお子さんは500円割引
- ・ 会費の納入方法は年2回払いとし、4月・10月に銀行振り込みにて半年分を納入する。途中退会時には返金しないものとする。
- ・ 途中入会は翌月1日入会とし、会費もその月から徴収する。なお、保険については安全性重視の観点から、申込み受付後すみやかに加入する。
- ・ 6年生の年度末近くの再入会については、通常の再入会手続きを行うが、会費は免除する。

#### **★休会（休部）の手続きに関して**

- ・ 休会（休部）の制度はないので、長期間休む場合は、退会手続きをお願いする。従って、通常の退会と同様、ビブス等の貸与物があればクラブに返却のこと。長期間の休みを終え、再度、入会希望のある場合は、改めて入会手続きを行うこととする。
- ・ ただし、ケガによる短期間の練習休み等はこの限りとはしないが、その間の練習当番は通常通り担当するものとする。また、長期間の離脱でも、会費を払い、練習当番を担当するお気持ちのある方は、そのまま継続とする。

#### **4. 保護者の当番制度**

- ・ クラブ共通の試合・練習用備品等について、当番バッグを各学年1個（未就学児を含めて合計7個）用意し、保護者のみなさまに順番で当番をお願いする。
- ・ 公式練習・公式試合・練習試合ともに、毎回、各学年1名の学年当番で順番に対応頂く。
- ・ 事前にホームページに登載する『月度当番表』に練習場所と当番者名が記載されている。
- ・ 用事があって、当番を変更したいという時は、各学年の運営委員まで、連絡のこと。
- ・ 当番にあたっては、下記事項についての対応をお願いする。（詳細は毎月の当番表下段に記載）
  - ☆倉庫よりブルーシートや救急箱の取り出し。怪我の手当て等
  - ☆当番バッグ内や救急箱の中身の不足を確認し、不足は運営委員へ連絡
  - ☆小松川・二小松の校庭トイレの鍵の開閉（鍵は当番バッグ内）。ビブスの洗濯。

#### **5. 保険関係に関して**

- ・ メンバーは加入すると、『スポーツ安全保険』に入ることになり、保険担当幹事が手続きを行う。
- ・ 往復の事故等がご心配の保護者ご自身については、本人希望(自己負担)でこの保険に入れるので、保険担当幹事まで、申し込むこと。
- ・ 補償内容は傷害保険と賠償責任保険から構成されている。
- ・ 事故が発生した場合は、速やかに保険担当幹事に連絡し、相談のこと。

#### **6. 公式戦順延時や公式練習の雨天時練習中止の連絡**

- ・ 雨天やグラウンド不良による当日の練習の中止、練習場所・時間の変更、公式戦の順延等々の連絡は、代表または各学年担当コーチより、らくらく連絡網（携帯メール）で保護者に回します。

## Ⅱ. 試合・練習時のルールに関して

(子供の安全確保のため、周辺地域との共生のため)

### 1. 試合／練習時の服装・用具・みだしなみ

★ユニフォーム……クラブ規定のユニフォーム2組を揃える。

- ・ユニフォームの購入に関しては、それぞれの学年の副幹事長の指示に従い、準備をお願いいたします。小松川 SC ホームページからのネットによる業者への直接購入となる
- ・未就学児は、ユニフォーム購入はせず、白Tシャツにマジックにて大きく名前記入、または、色つきのゲームシャツに名前を記入した白ゼッケンを縫い付けのいずれかとする。

★ビブス 練習で使用するビブスを各人に1枚ずつ貸与する。退会時には必ず返還のこと。

★ボール 一人一個を用意のこと。少年用4号ボール。(未就学児は3号ボール可)

★靴 学校の校庭での練習ではスパイクは禁止。次のような靴を準備する。

ー靴紐で縛る方式のもので、靴底が荒いもの。(グラウンドですべらないように)

なお、練習用のサッカーシューズが発売されており、練習・試合には最適。

\*試合でスパイクを使用したい人は購入してもかまわないが、中学年以下ではほとんど必要なし。なお、スパイクを購入する場合は、ポイントが固定式のものに限定。

- ・ボール・シューズの手入れや等については、購入時のお店に確認するか、コーチ陣に確認願います。なお、雨で濡れたような場合は、布で拭いた上、陰干し願います。
- ・サッカー用品購入に関しては、コーチ陣が知っているお店もあるので、情報提供を求めています。
- ・靴の破損・靴底のすり減り・靴ひもが切れている等の場合は新たな靴を購入のこと
- ・公式練習時、小学生はユニフォームと『脛当て』を必ず着用のこと。土曜日はセカンドユニフォーム、日曜日はファーストユニフォームを着用。日曜日試合の前後はコーチの指示による。なお、練習時のストッキングについては、クラブ指定のものと同色であれば、クラブ指定以外のストッキングを使用して構わない。
- ・試合時は正副ユニフォーム両方持参のこと。また、ビブスも持参すること。
- ・寒い時はジャージ等可。自由練習は、ユニフォーム不要、『脛当て』は必ず着用。
- ・長い爪は、相手を傷つける危険があるので、練習や試合に出かける前の晩に、必ずチェック。伸びていれば切っておくこと。公式試合時は、必ず事前にチェックされる。
- ・眼鏡はプレーヤー(本人・仲間)に危険なため、禁止とする。スポーツ用ゴーグルは可。
- ・ボールをはじめジャージ・水筒等、すべての持ち物にクラブ名と名前を書いておくこと。
- ・暑い時期は、熱中症予防のためにも、帽子を着用のこと。  
また、顔・体を冷やす必要もありますので、必ず、タオルを持たせること！
- ・寒い時期は手袋を着用のこと。手をポケットに入れては、サッカーになりません！

### 2. 飲み物に関して……ペットボトルは禁止！ 水筒を持参のこと！

- ・地域・ご近所にポイ捨てで迷惑を掛けないという観点から、一切、ペットボトルは禁止とする。
- ・暑い季節には、練習・試合時に沢山の水分を取るよう指導するので、大き目の水筒にたっぷりの飲料を用意のこと。暑い時期には、最低でも1リットル以上の水分を持参のこと。
- ・なお、塩分の含まれている『アクエリアス』『ポカリスエット』等が最適とされている。

### **3. 練習の合間時の子供たちの安全確保に関して**

- ・ 低学年・未就学児の保護者のみなさまは、なるべく、練習時もグラウンドに顔を出して、応援すると共に、事故のないよう、目配りをお願いします。
- ・ 練習の合間の休憩時間に、コーチの目が行き届かないケースも出てきます。特に、低学年は危険な場所に入り込んだり、危ない遊びをしたりするケースもあるようです。コーチ陣も目を配りますが、保護者のみなさんも、気がついた時は、直接声を掛けて注意をしてあげてください。
- ・ 子供の身体の異変に早めに気が付くように、保護者のみなさんも子供達を観察して見てください。コーチも気をつけてはおりますが、保護者のみなさまも、サポートもお願いいたします。
- ・ 暑い時期には、練習の合間に日陰で休養をとるよう、コーチから指示が出ることもあります。とはいえ、日向に出て、ボール蹴りやその他の遊びに夢中になることもありますので、コーチからの指示を確認して、休養時間は日陰で休むようお願いいたします。

### **4. 挨拶の励行、集合の時間厳守等 マナーに関して**

- ・ グラウンドへ来た時の『おはようございます!』・『こんにちは!』、練習終了後の『さようなら!』等、しっかり挨拶をしましょう! コーチ・コーチ陣にだけでなく、グラウンドに来ている小松川SCの仲間や保護者のみなさんにも挨拶を! また、ご家庭でも、平日頃の挨拶の習慣をつけるようにしましょう!
- ・ 練習開始時の遅刻が少し目立ちます。ほかの子供たちへの迷惑にもなりますので、余裕を持って家を出るようにご指導願います。
- ・ 試合時の集合時間に遅れると、小松川SCの仲間に迷惑をかけるだけでなく、大会の運営等にも支障をきたしかねません。時間厳守で集合願います。

### **5. 練習会場・遠征試合会場でのルール遵守の徹底!**

- ・ 各小学校や公共の施設を利用させてもらっておりますが、学校内や周辺での禁煙をはじめ、駐輪のルール、駐停車のルール、利用可能な場所の限定等々、利用グラウンド毎にルールが決まっております。ホームページに登載してある『グラウンド(練習時・公式戦時)使用注意事項』を熟読し、ご理解の上、ルール遵守をお願いいたします。
- ・ 少年第二ブロック・江戸川区サッカー連盟からの通達や大会毎のルールについては遵守をお願いいたします。

### **6. その他、保護者の方へのご依頼事項**

- ・ 保護者の方の練習への参加大歓迎(経験は必要なし)。一緒に楽しく遊びましょう。
- ・ 自動車をお持ちの方は、試合時の送り迎え等のご協力をお願いいたします。
- ・ 試合時の車往復のケースでは、車を汚さないため、**着替え・履き替え靴**を用意のこと! コーチまたは保護者の方の車に乗せてもらう点にご留意願います。行き帰りのサンダルは禁止!
- ・ 練習への行き帰りの自転車は安全運転を! 信号無視・坂道でのスピード・ふざけること厳禁! とりわけ、平井グラウンドへの行き帰り時は、荒川河川敷内の自転車も多いので、注意願います。

## Ⅲ. ホームページ・情報共有化について

### 1. 小松川 S C ホームページ (<https://komatugawa-sc.jimdofree.com/>)

試合・練習日程や試合結果等、盛り沢山のホームページとなっております。

### 2. ホームページ上の写真について

クラブのイベント（サッカーフェスティバル等）については、写真を掲載することがあります。小松川 SC ホームページのメニューの『ギャラリー』をクリックしてください。パスワード画面が表示されますので、その時々メールで通知されたパスワードを入力してください。なお、個々の写真のダウンロードはできません。写真は1~2ヶ月程度で削除いたします。

なお、江戸川区の公式戦については、江戸川区サッカー連盟との提携業者が撮影して、その会社のホームページにアップしております。江戸川区サッカー連盟または小松川 S C からの通知をご確認の上、ご覧下さい。（『はいチーズ』）

その他の公式戦・練習試合等は各学年間で相談して、撮影・配布等をお願いいたします。

### 3. その他サッカー関連のホームページ

小松川 S C のホームページのメニュー（左側の欄）の『リンク』をクリックしてください。

J F A（日本サッカー協会）や東京都サッカー協会・少年連盟・少年第二ブロック・江戸川区サッカー連盟（含む少年部）その他諸々のホームページに L I N K が張られております。

サッカー関連の最新の情報や日本サッカー協会の方針・審判の講習会情報・大会の予定・結果等を見ることができますので、折に触れてご確認頂くとうよろしいかと思えます。

### 4. ホームページ『小松川 SC 関係者専用』を参照願います！

- ・定期的な小松川サッカーニュースやその他クラブ運営に関わる諸資料は原則として小松川 SC のホームページの『小松川 SC 関係者専用』欄に登載され、登載された時に連絡網でお知らせが届きます。必ず、該当資料の内容をご確認願います。
- ・練習日程表や当番表は『活動予定欄』に登載されますが、こちらはパスワード不要です。

## IV. 少年サッカーって？ 保護者の関わり

### 1. 少年サッカー基本的な考え方

#### ① JFA(日本サッカー協会)キッズプログラム

心身、特に神経系の発育発達がめざましい幼児期や小学校低中学年代において、多くの子供達に身体を動かすことの爽快さやスポーツの素晴らしさを体感してもらいながら、サッカーの普及・浸透さらには人材の育成を図る。この年代層(U-10・U-8・U-6)を「キッズ」と称することとし、各都道府県にて普及・育成に関する活動を積極的に展開し、ひいてはトレセン制度や日本代表の強化をも見据えた JFA 独自の普及・育成体制 (JFA キッズプログラム) を整備する。また、トップレベルの選手になり得なかった場合にも、自分自身に誇りを持ち、実社会に貢献できる様な人間教育を行える仕組み作りを目指す。

#### ② クラブとしての基本的な考え方

多くの子どもたちにそして、保護者の方にサッカーの持つすばらしさを理解してもらい、楽しんでもらい、心身の健やかな発育発達に貢献して行く環境作りがクラブの役目。サッカーをやっていた。サッカーは楽しい、これからもサッカーを続けたい。こうしたサッカーの持つ喜びを体験した子どもたちは将来もサッカーを愛好し、困難なことに直面しても、自ら切り開いていく力をみせてくれると思います。生涯にわたって大きな影響を与える大切な時期の指導であることを我々指導者は常に意識して指導にあたります。

少年の指導育成の立場として、子どもたちがサッカーを楽しむということ、勝利至上主義ではなく、子どもたちの大きな成長を期待して技術向上に尽くしていきたいと考えております。

### 2. 保護者の心得・・・下記のような心構えで子供をサポートして下さい

#### ●試合や練習を見に行きあげましょう

サッカーに限らず、低学年では積極的に子供達の活動を見てあげて下さい。 ただ、練習を見に行くと、どうしても自分の子供に文句を言いたくなるようですが、それは逆効果となります。

#### ●試合ではすべての子供を応援してあげましょう

自分の子供だけではいけません。 子供自身が回りの子供に気兼ねをしてしまいます、つまり、「恥ずかしい」のです。「サッカーはみんなでやるものだ」というのは子供でも知っています。

#### ●調子の良いときだけでなく、調子の悪いときも勇気つけてあげましょう。

批判してはいけません。「批判」は何も生みません。指導者が「いいんだよ、気にする事はないからね」と励ましているにもかかわらず、保護者が「何やってんのぉ！」と子供を地獄に突き落とすパターンが(一生懸命な親ほど)あるような気がします。まず「保護者」がしっかり励ましてあげましょう。

#### ●あまり大声で叱らないで下さい！

失敗した自分の子供を大声で叱ったりする保護者(時には監督・コーチ)もいるが、これも絶対に許してはいけないことです。失敗にはそれぞれ『技術的な拙さ』『戦術的判断力の未熟さや誤り』『精神的な問題に起因するもの』・・・等が考えられますが、それらを良く理解した上で、各選手に適切なアドバイスをしないと、せつかくのミスも今後の子供たちの成長に活かすことが出来なくなってしまいます。

#### ●レフリーの判定に対する声は一切ダメ！(たとえ、間違っている、言っただけでも)

審判の判定にクレームを大声で叫ぶ保護者(時には監督・コーチ)が見うけられます。審判がいて初めて選手はゲームを楽しめるのです。選手が審判をお願いしているのだ・・・という基本的な考え方を忘れないように!

どんな判定であれ、グラウンドの上では主審の判定は絶対であり、最終的である、という意識を持って頂きたいと思います。

●子供が参加することを刺激し、勇気づけてあげましょう

保護者のちょっとした言葉使いで、子供達の気持ち「前向き」になったり「(プレッシャーで)後ろ向き」になったりします。是非、ポジティブな声をかけて勇気づけてあげてください。

●試合がエキサイティングだったか、楽しかったか、聞いてあげましょう

結果だけ聞くことのないように！ 試合の内容はどうだったのか？その中で自分は何が出来たか？楽しかったか？「勝ち/負け」だけではなく、いろいろ聞いてあげてください。子供は「保護者に認められたい」のです。良かった事、悪かった事、しっかり聞いて、褒めてあげ、励ましてあげてください。

●選手への指示は監督・コーチのみ、保護者は励ましの応援のみです！

戦術上の問題について、監督・コーチを差し置いて、保護者の権威を持って自分の子供に直接指示・命令をしてしまう保護者がよく見うけられます。保護者のみなさんは、子供達と一緒に喜び、あるいは悔しがらる…・ということでサポートして下さい。

●サッカーにふさわしい、節度ある用具を準備してあげてください

大きくなってはいけません！ 練習にはTシャツや、チームで用意しているユニフォームで十分なのです。あまり大きにならない（というか保護者同士で見栄を張り合わない）ようにしてもらいたいものです。

●クラブの仕事を尊重して下さい

「クラブの仕事」は誰かがやらなければなりません。子供が所属している「クラブ」がどのような性格を持ち、「保護者」としての役割分担や義務がどのようになっているのか、しっかり理解しておくことが大切なのだと思います。積極的に保護者同士のミーティングを持ち、どのような態度で臨むべきかを話あいましょう。保護者同士やコーチとのコミュニケーションと相互理解が大切だと思います。

●忘れないでください。サッカーをするのは、あなたの子供です。

あなたではありません！ 主役は「子供達」なのです。！ 別紙『キッズゾーン』参照

### 3. 試合中のベンチと応援席の分離について

- ・ベンチには、控え選手のほかは、コーチ5名しか入れない。(2ブロック・江戸川区共通ルール)  
(その他のコーチ・保護者はベンチから離れて、指定の場所で応援を！)
- ・試合中の水分補給や汗拭き(タオル)は、子供達に任せる。水筒・タオルを自分で持っていき、ベンチに置いておく。(クーラー<給水器>・コップはベンチに持ち込まない！)

以上

少年サッカープレーヤーの技術・戦術は年々向上しています。これは、子供達が試合を観戦する機会が増えた事、そして指導者の研鑽の賜ではないでしょうか。有名選手の技術戦術は子供達の憧れでもあり一生懸命に真似をして覚えようとしています。

しかし、試合会場では！この成果を確認する機会が奪われております。

それは、応援の父母、その関係者の声援の言葉に、子供達が自分自身で考えやろうとしているプレーの判断を、先回りしてその機会を失わせるような行為をしているからです。

子供達に期待するものは、何なのか？結果ばかりではないと思います。将来！プロを目標に頑張っている子供や、社会人として立派になって欲しいと期待する親御さんなど、考えはそれぞれにあると思います。今出来なくとも、焦らずに見守ってあげる事が近い将来！困難に立向かい解決する力を！しっかりと身に付けてくれるものと信じています。プロとして社会人として成長する上で最も大切な時を今！迎えています。子供達が成長過程を振り返った時、サッカーをやっていて良かったと言えるような環境を提供いたしましょう。

後期大会から試合会場には **KIDS ZONE**のプラカードを掲示し、子供達が主役の大会であることを全ての試合観戦者にアピールする運動を推進致します。

### 父母の応援のしかた

子供達に100%技能を発揮させるための声援に、否定的な言葉は慎みましょう。

失敗をすることで学び大きく成長します。くれぐれも発言には注意をしましょう。

【相手は敵ではありません！同じサッカーを愛する仲間です！！全てが私達の子供達です】

ミスや失敗したら⇒ 次ぎ頑張ろう・次のプレーで取り返せ・焦らなくても良いよ～

得点を奪われたら⇒ 焦らないで取り返そう・心配しないで頑張って～

相手を倒したら ⇒ 今のプレーは良くないよ、謝ろう。

相手に倒されたら⇒ 頑張って！立とう、大丈夫！〔プレーを再開したら拍手を贈ろう〕

### ベンチからの指示について

戦術的指示が出来るのは1名のコーチにのみ許されています。他（1～4名）のコーチは

監督の補助やケガの対応などが主な役割です。指示は簡単明瞭的確に選手に伝わる事が良い指示と言われています。開始から終了まで選手に対して延々とベンチから指示を出さなければならないようでは指導力不足と言われても仕方が無いと思います。

選手のプレーの判断を奪う指示や審判の判定に対する発言に充分注意を払いましょう。

良い例⇒失敗しても責めない。気にするな、次ぎ頑張れ～。

良いプレーには、サンキュウ！

悪い例⇒指示を出し続け。お～い？お前？何だよ～。ええ～？違うだろ～。